

パシフィック・ミュージック・  
フェスティバル札幌（PMF）2023  
経済波及効果算出業務

報 告 書

令和6年2月  
株式会社ドーコン

---

---

# 目 次

---

---

第 1 章 調査の概要 .....	1
1-1 調査の目的 .....	1
1-2 調査の内容 .....	1
第 2 章 来場者アンケート調査の実施 .....	2
2-1 調査の概要 .....	2
2-2 調査票 .....	3
2-3 イベント来場者による総消費額の推計 .....	4
第 3 章 PMF2023 の実施による経済波及効果の算出 .....	8
3-1 推計する経済波及効果 .....	8
3-2 経済波及効果の推計範囲 .....	13
3-3 経済波及効果の推計手順 .....	14
3-4 開催事業費及び消費額の整理 .....	15
3-5 経済波及効果の推計 .....	18
3-6 観光資源としての今後の PMF のあり方 .....	20

本報告書では、小数点以下を四捨五入している関係で、図表中の総額と内訳の合計が一致しない場合がある。

## 第1章 調査の概要

### 1-1 調査の目的

パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌 2023（以下「PMF2023」という。）の実施による経済波及効果を算出することにより、経済・観光の観点から音楽祭を評価し、より高い効果をもたらす音楽祭とするための検討の一助とする。

### 1-2 調査の内容

PMF2023に係る経済波及効果の推計を行う。算出にあたっては、文化庁「「日本博」経済波及効果推計ガイドライン（令和3年3月）」の規定に基づき行う。

#### (1) 調査票の作成

来場者アンケートのための調査票を作成した上で、経済波及効果を算出するための来場者アンケートを実施する（アンケートの実施はPMF組織委員会が行う）。

#### (2) 回答調査票の集計

調査対象公演の終了後、来場者アンケートの回答内容をデータ化の上、集計する。

#### (3) 調査結果の分析・取りまとめ

「「日本博」経済波及効果推計ガイドライン（令和3年3月）」に基づき、経済波及効果を推計する。推計に当たっては同ガイドラインによる推計ツールを用いる。

また、札幌市が実施する「観光客入込調査」、「宿泊施設利用状況調査」、公的機関等が実施する観光客に関する調査結果の資料等を参考としながら、国内観光振興や観光インバウンド需要回復に向けて、PMFの観光資源としての活用や観光施策との連携などについての提言も行う。

#### (4) 報告書作成

本業務の成果物として報告書及び報告書概要版を作成する。

## 第2章 来場者アンケート調査の実施

### 2-1 調査の概要

PMF2023は、令和5年7月12日（水）から8月1日（火）の21日間にわたって開催された。来場者アンケート調査については、21日間の公演のうち、以下の日程で実施した。

図表 2-1 来場者アンケート調査の概要

項目	内容
①調査日程	PMF2023 開催期間： 令和5年7月12日（水）～8月1日（火） 21日間
②調査場所	7月16日（日） PMFウィーン演奏会 7月23日（日） PMFホストシティ・オーケストラ演奏会 7月30日（日） GALAコンサート
③調査方法	来場者に対してアンケート調査票を配布
④調査項目	1. 回答者属性（性別、年代、居住地） 2. 当日の札幌市内での支出額（交通費、宿泊費、飲食費、土産・買い物代など）
⑤回収サンプル数	回収票数 1,391 票 （うち、白紙28票のため、有効回答1,363票）

図表 2-2 来場者アンケート調査の回収結果

公演	回収数	白紙票	有効回収数
7/16(日)PMF ウィーン演奏会	325	7	318
7/23(日)PMF ホストシティ・オーケストラ演奏会	468	12	456
7/30(日)GALAコンサート	598	9	589
合計	1,391	28	1,363

## 2-2 調査票

## PMF 2023 来場者アンケート

本日はPMF 2023のコンサートにご来場いただき誠にありがとうございます。今後のPMFをよりよいものとするため、お手数ですが下記アンケートへのご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、ご回答内容は統計的に処理されますので、個別の回答が公表されることはありません。

## 1 あなたご自身についてお尋ねします。

- a 性別 男性 女性 答えたくない
- b 年齢  ( ) 歳  答えたくない
- c お住まい  札幌市内  道内他市( )  道外( )  国外( )
- d 職業  会社員・公務員  自営業  学生  主婦・主夫  パート・アルバイト  無職
- e あなたは、クラシック音楽の鑑賞に興味がありますか。  
 とてもある  どちらかというところ  どちらかというところない  ない
- f あなたは普段、どの程度クラシック音楽を音楽堂・コンサートホール等で鑑賞していますか。  
 しばしば鑑賞している  たまに鑑賞している  ほとんど鑑賞していない

## 2 PMFについてお尋ねします。

- a あなたのPMFへのご来場は、今年で何回目ですか。  
 今回が初めて  2回目  3回目  4回目  5回目以上
- b (PMFに2回目以上来場されている方にお伺いします) あなたが初めてPMFにご来場された際の年齢か開催年を教えてください。※明確にご記憶でない場合、おおよその回答で結構です。  
 あなたの年齢( )  開催年( )  覚えていない・答えたくない
- c あなたはPMFにどなたと来場されましたか。あてはまるものを全て選択してください。  
 あなた1人  友人  配偶者・恋人  あなたのお子様  その他の親族  その他
- d (札幌市外にお住まいの方にお伺いします) PMFは札幌市への訪問の主たる目的ですか。  
 はい  いいえ
- e あなたはPMFにご来場され、札幌市に対する印象が良くなりましたか/悪くなりましたか。  
 良くなった  やや良くなった  どちらともいえない  やや悪くなった  悪くなった
- f あなたはPMFについてどのようなイメージをお持ちですか。あてはまるものを全て選択してください。  
 魅力的なプログラムが充実している  高い質の演奏が鑑賞できる  
 他のコンサートと比べて敷居が低い  子供や若者が気軽に鑑賞・参加できる  
 音楽家の育成に貢献している  国内外で知名度がある  あてはまるものはない

## 3 今回のご来場に伴う外出や旅行の中で、あなたがお使いの金額を教えてください。

※同行者を含まずお一人分について、今後の予定も含めた、おおよその額をご回答願います。  
 また、PMFのチケット代や公式グッズの費用は金額に含めないでください。

- a 交通機関(飛行機を除く公共交通機関、タクシー、レンタカー等) .....
- b 宿泊費(バック旅行や食事込の場合は総額をご記入ください。) .....
- c 飲食費 ..... 円      d お土産、買い物代 ..... 円
- e 娯楽等サービス費 ..... 円      f その他 ..... 円

ご回答いただく項目は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

## 2-3 イベント来場者による総消費額の推計

### (1) イベント来場者の消費額単価の推計

消費額単価は、アンケートで回答された消費総額を属性別回答者数（無効回答を除く有効回答数）で除することにより求めた。

なお、イベント来場者の消費先は限定していないため、札幌市以外での消費も含まれる。

○消費額単価＝消費総額÷有効回答数

推計結果は以下のとおりであり、道内客・宿泊 44,571 円（34 サンプル）、道内客・日帰り 2,799 円（1,239 サンプル）、道外客・宿泊 173,711 円（49 サンプル）、道外客・日帰り 13,197 円（30 サンプル）となった。

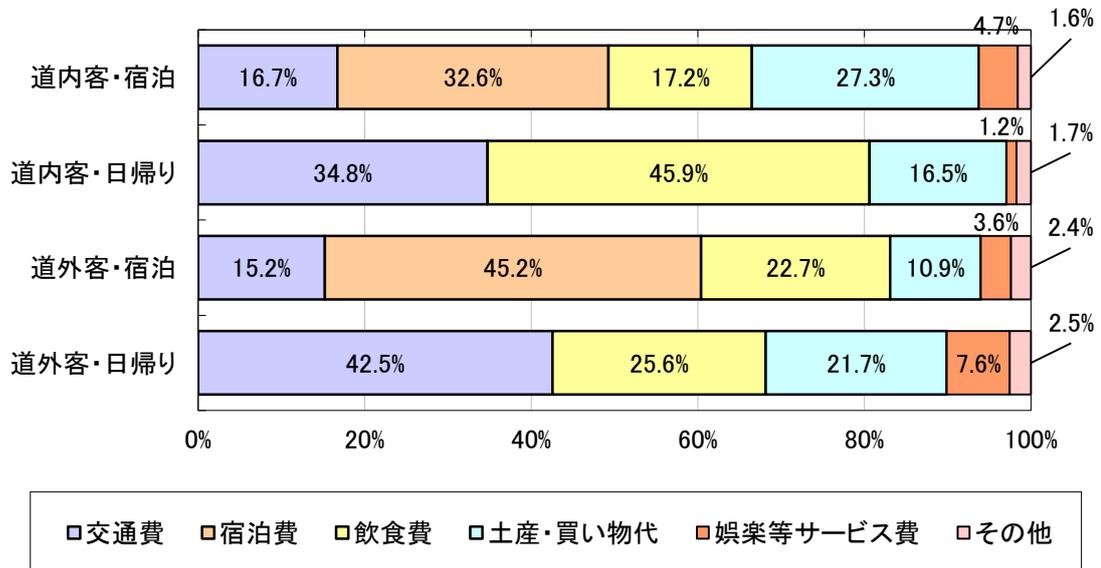
図表 2-3 PMF2023 来場者の消費額単価及びサンプル数

（単位：円）

区分 費目	道内客		道外客	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
交通費	7,456	973	26,411	5,613
宿泊費	14,512	—	78,473	—
飲食費	7,676	1,284	39,459	3,383
土産・買い物代	12,147	461	18,918	2,867
娯楽等サービス費	2,088	33	6,327	1,000
その他	691	48	4,122	333
合計	44,571	2,799	173,711	13,197
サンプル数	34	1,239	49	30

属性別に消費単価をみると、道内客については、道内客・宿泊が全体単価 44,571 円のうち、宿泊費 14,512 円 (32.6%)、土産・買い物代 12,147 円 (27.3%)、飲食費 7,676 円 (17.2%)、交通費 7,456 円 (16.7%) の割合が多くなっている。また、道内客・日帰りは全体単価 2,799 円のうち、飲食費 1,284 円 (45.9%)、交通費 973 円 (34.8%) の割合が多くなった。

一方、道外客については、道外客・宿泊が全体単価 173,711 円のうち、宿泊費が 78,473 円 (45.2%)、飲食費 39,459 円 (22.7%)、交通費 26,411 円 (15.2%)、土産・買い物代 18,918 円 (10.9%) の割合が高くなっている。また、道外客・日帰りは全体単価 13,197 円のうち、交通費 5,613 円 (42.5%)、飲食費 3,383 円 (25.6%)、土産・買い物代 2,867 円 (21.7%) の割合が高い結果となった。



図表 2-4 属性別消費単価構成比

## (2) PMF2023 来場者数の推定

PMF 組織委員会の発表によると、PMF2023 来場者数は 17,724 人であった。

「日本博」経済波及効果推計ガイドライン（令和3年3月）においては、来場者数については重複している来場者を除くこととなっていることから、オープンリハーサル参加者数を除いた 17,276 人を正味の来場者数とした。

また、同ガイドラインでは、来場者数を日本人・外国人、県内・県外、宿泊・日帰りごとにそれぞれ分割する必要があることから、来場者アンケートにおける属性比率を使用し、以下のように属性別来場者数を推定した。

図表 2-5 PMF2023 来場者数

属性		来場者アンケート による属性比率	来場者数 (推定値)	
日本人	県内	宿泊	2.5%	433
		日帰り	91.3%	15,774
	県外	宿泊	3.6%	624
		日帰り	2.2%	382
外国人		0.4%	64	
合計			17,276	

図表 2-6 PMF2023 の実施公演及び来場者数

日程	開演	公演名	会場	来場者数	定員数
7月10日 (月)	10:30	◇PMFボランティアコンサート	北海道札幌養護学校	70	—
7月12日 (水)	18:30	PMF2023オープニング・ナイト	札幌コンサートホールKitara 大ホール	1,126	1,394
7月13日 (木)	14:00	◇オープンリハーサル(PMFオーケストラ<プログラムA>)	札幌コンサートホールKitara 大ホール	72	200
	19:00	PMFホームカミング・コンサート	札幌コンサートホールKitara 小ホール	298	349
7月14日 (金)	14:00	◇オープンリハーサル(PMFオーケストラ<プログラムA>)	札幌コンサートホールKitara 大ホール	89	200
	19:00	PMFベルリン演奏会	札幌コンサートホールKitara 大ホール	768	1,008
7月15日 (土)	17:00	PMFオーケストラ演奏会	札幌コンサートホールKitara 大ホール	1,647	2,020
7月16日 (日)	11:00	◆PMF公開マスタークラス I ~クラリネット&室内楽~	札幌コンサートホールKitara 小ホール	146	349
	15:00	PMFウィーン演奏会	札幌コンサートホールKitara 大ホール	874	1,008
7月17日 (月祝)	15:00	PMFオーケストラ苦小牧公演	苦小牧市民会館	701	1,564
7月19日 (水)	13:45	◆PMFリンクアップ・コンサート	札幌コンサートホールKitara 大ホール	1,184	—
7月20日 (木)	19:00	PMF時計台コンサート	札幌時計台ホール	150	150
	19:00	PMFアンサンブル清田区公演	札幌市清田区民センター区民ホール	294	250
7月21日 (金)	12:25	第499回 市民ロビーコンサート	札幌市役所1階ロビー	250	—
	19:00	PMFアンサンブル演奏会 ~古き良きドイツの調べ~	札幌コンサートホールKitara 小ホール	271	349
	19:00	PMFアンサンブル江別公演	江別市民文化ホール(えぼあホール)	300	450
7月22日 (土)	15:00	PMFアンサンブル奈井江公演	奈井江町文化ホール(コンチェルトホール)	145	246
	15:00	PMFアンサンブル演奏会 ~近現代室内楽セレクション~	札幌コンサートホールKitara 小ホール	304	349
7月23日 (日)	14:00	◆PMFクラシックLABO ♪加藤昌則の"PMF"な音楽の授業(じかん)	札幌コンサートホールKitara 小ホール	267	349
	14:30	◇オープンリハーサル(札幌交響楽団(PMFホストシティ・オーケストラ演奏会))	札幌コンサートホールKitara 大ホール	130	200
	18:00	PMFホストシティ・オーケストラ演奏会	札幌コンサートホールKitara 大ホール	1,233	2,008
7月24日 (月)	15:00	PMFアンサンブル演奏会 ~第171回JR TOWER妙夢コンサート~	JR札幌駅南口1階西コンコース「妙夢」前	447	—
	18:00	PMFアンサンブル演奏会 ~WONDER MUSIC NIGHT~	AOAO SAPPORO「BLUE ROOM」	70	—
	19:00	PMFアンサンブル演奏会 ~WONDER MUSIC NIGHT~	AOAO SAPPORO「BLUE ROOM」	40	—
7月25日 (火)	19:00	PMF豊平館コンサート	豊平館(中島公園内)	110	100
7月26日 (水)	19:00	PMFアメリカ演奏会	札幌コンサートホールKitara 小ホール	407	459
7月27日 (木)	14:00	◇オープンリハーサル(PMFオーケストラ<プログラムB>)	札幌コンサートホールKitara 大ホール	82	200
	19:00	◆PMF公開マスタークラス II ~チェロ&室内楽~	札幌コンサートホールKitara 小ホール	185	349
7月28日 (金)	14:00	◇オープンリハーサル(PMFオーケストラ<プログラムB>)	札幌コンサートホールKitara 大ホール	75	200
7月29日 (土)	12:00	ピクニックコンサート<レナード・バーンスタイン・メモリアル・コンサート>	札幌芸術の森・野外ステージ	2,310	3,500
7月30日 (日)	15:30	PMF GALAコンサート	札幌コンサートホールKitara 大ホール	1,656	2,008
7月31日 (月)	18:30	PMFアメリカ函館公演	函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭)	486	712
8月1日 (火)	19:00	PMFオーケストラ東京公演	サントリーホール	1,537	2,012

◇:音楽普及事業 ◆:演奏会事業 兼 音楽普及事業

<b>来場者数合計</b>	<b>17,724</b>
うち北海道内来場者数合計	16,187
うち札幌市内来場者数合計	14,555

<b>演奏会事業来場者数合計</b>	<b>17,206</b>
うち北海道内来場者数合計	15,669
うち札幌市内来場者数合計	14,037

<b>音楽普及事業来場者数合計</b>	<b>2,300</b>
---------------------	--------------

### 第3章 PMF2023 の実施による経済波及効果の算出

PMF2023 来場者による経済波及効果について、文化庁「「日本博」経済波及効果推計ガイドライン（令和3年3月）」に基づく推計ツールを用い、経済波及効果を推計する。

#### 3-1 推計する経済波及効果

経済波及効果とは、新たな需要が発生することによって誘発される生産（生産誘発効果）等をいう。本調査では、各種の文化事業が実施されることで新たに発生する需要を対象とする。

「「日本博」経済波及効果推計ガイドライン（令和3年3月）」では、各種事業によって新たに発生する需要として2種類の効果が挙げられており、双方の効果を推計することとする。

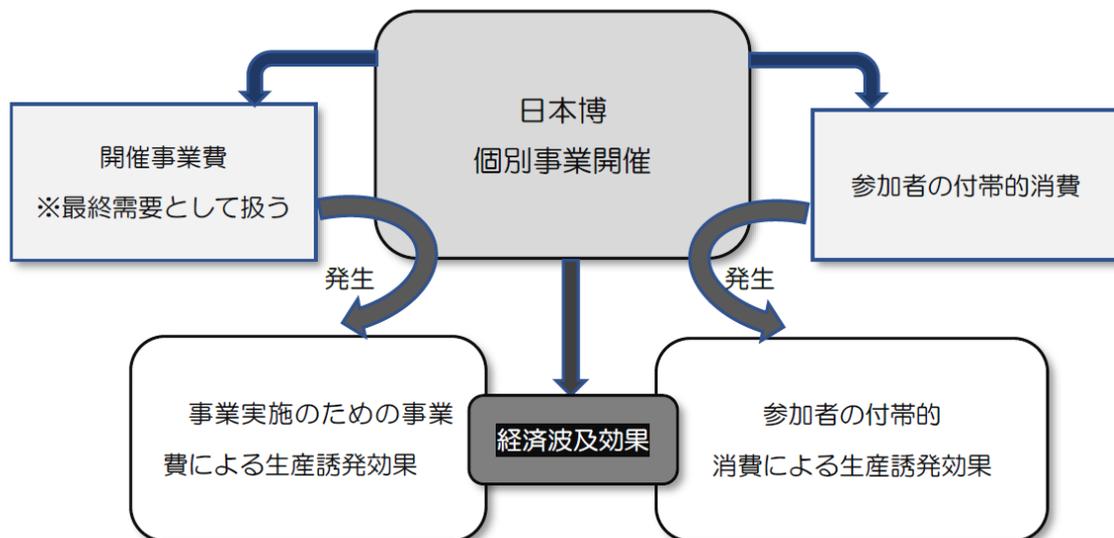
##### (1) 開催事業費による経済波及効果

事業を実施するために新たに生じた需要が市場に流れ込んで生じる経済波及効果。

##### (2) 事業の参加者（入場者や観覧者等）の消費による経済波及効果

事業の参加者が、参加するために、または参加することに付随して消費（入場料、交通費、宿泊費など）することにより生じる経済波及効果。

図表 3-1 推計する経済波及効果



出典:「日本博」経済波及効果推計ガイドライン(令和3年3月)

(1) 直接効果及び第一次波及効果

ある産業部門の最終需要が増加した場合、それを満たすために当該産業部門の生産が増加するとともに、原材料等の購入や雇用者所得の増加によって他の産業部門の生産も連鎖的に誘発されていく。これらの効果を「生産誘発効果」という。

生産誘発効果は、さらに次のように分けることができる。

①直接効果（最終需要額）

- ・新規需要の発生により誘発される生産増加で、新規需要額に域内自給率を乗じることにより求められる。

②原材料波及効果（第一次波及効果）

- ・新規需要（直接効果）の生産に投入される中間需要（原材料、サービスなど）を生産するために誘発される生産増加。
- ・直接効果に投入係数、域内自給率及び逆行列係数を乗じることにより求められる。

産業連関分析においては、一般的に「均衡産出高モデル」が用いられている。均衡産出高モデルとは、ある最終需要が発生したとき、それに対応して増加する域内生産額を計測するものである。

一般に、地域内の総需要と総供給のバランスは次のように表すことができる。

$$U + F + E = X + M \quad \dots \dots \dots (1)$$

このとき、

U：中間需要 F：域内最終需要ベクトル E：移輸出ベクトル

X：均衡産出額ベクトル M：移輸入ベクトル

ここで、Aを投入係数行列とおくと、 $U = AX$ になるので、(1)式は次のように書き換えることができる。

$$AX + F + E = X + M \quad \dots \dots \dots (2)$$

中間需要 $U = AX$ と域内最終需要Fに対する移輸入Mの比率、すなわち移輸入係数ベクトルを $\tilde{M} = M/(AX + F)$ とすると、

$$M = \tilde{M}(AX + F)$$

となるので、これを(2)式に代入すると、

$$AX + F + E = X + \tilde{M}(AX + F)$$

となる。これをXについて解くと次のようになり、(3)式が均衡産出高モデルといわれる。

$$[I - (I - \tilde{M})A]X = (I - \tilde{M})F + E$$

$$X = [I - (I - \tilde{M})A]^{-1}[(I - \tilde{M})F + E] \quad \dots \dots \dots (3)$$

(3)式の右辺の $[I - (I - \tilde{M})A]^{-1}$ は開放型の逆行列係数、 $(I - \tilde{M})$ は域内自給率であり産業連関表から読み取ることができるため、(3)式に域内最終需要Fと移輸出Eを与えることにより、均衡産出額（域内生産額）Xを求めることができる。

## (2) 第二次波及効果

第二次波及効果（家計迂回効果）とは、生産誘発効果によって増加した生産によって各産業部門における雇用者所得が増加し、それが消費に転換することによってさらなる生産誘発を生み出す効果である。

直接効果及び原材料波及効果の生産誘発額と雇用者所得率から全産業部門の雇用者所得額を算出し、消費転換率や民間消費パターン、域内自給率及び逆行列係数を乗じることにより求められる。

このように家計消費を波及効果に組み入れたモデルを「家計消費内生モデル」という。

いま、最終需要を次のように定義する。

$F_c$  : 地域内家計消費（雇用者所得の増加により誘発される消費）

$F'$  : 家計消費以外の最終需要

このとき、 $F_c = cvX$ とおく。

$c$  : 消費転換率を民間消費パターンで配分したベクトル

$v$  : 雇用者所得率ベクトル

移輸入は地域内家計消費 $F_c$ に対して依存すると考えると、 $\tilde{M} = M/(AX + F_c + F)$ となるので、

$$M = \tilde{M}(AX + F_c + F)$$

となる。

また、総需要と総供給のバランス式である(1)式についても、上記の定義から、

$$U + F_c + F' + E = X + M$$

$$AX + cvX + F' + E = X + \tilde{M}(AX + cvX + F') \dots \dots \dots (4)$$

と書き換えることができる。

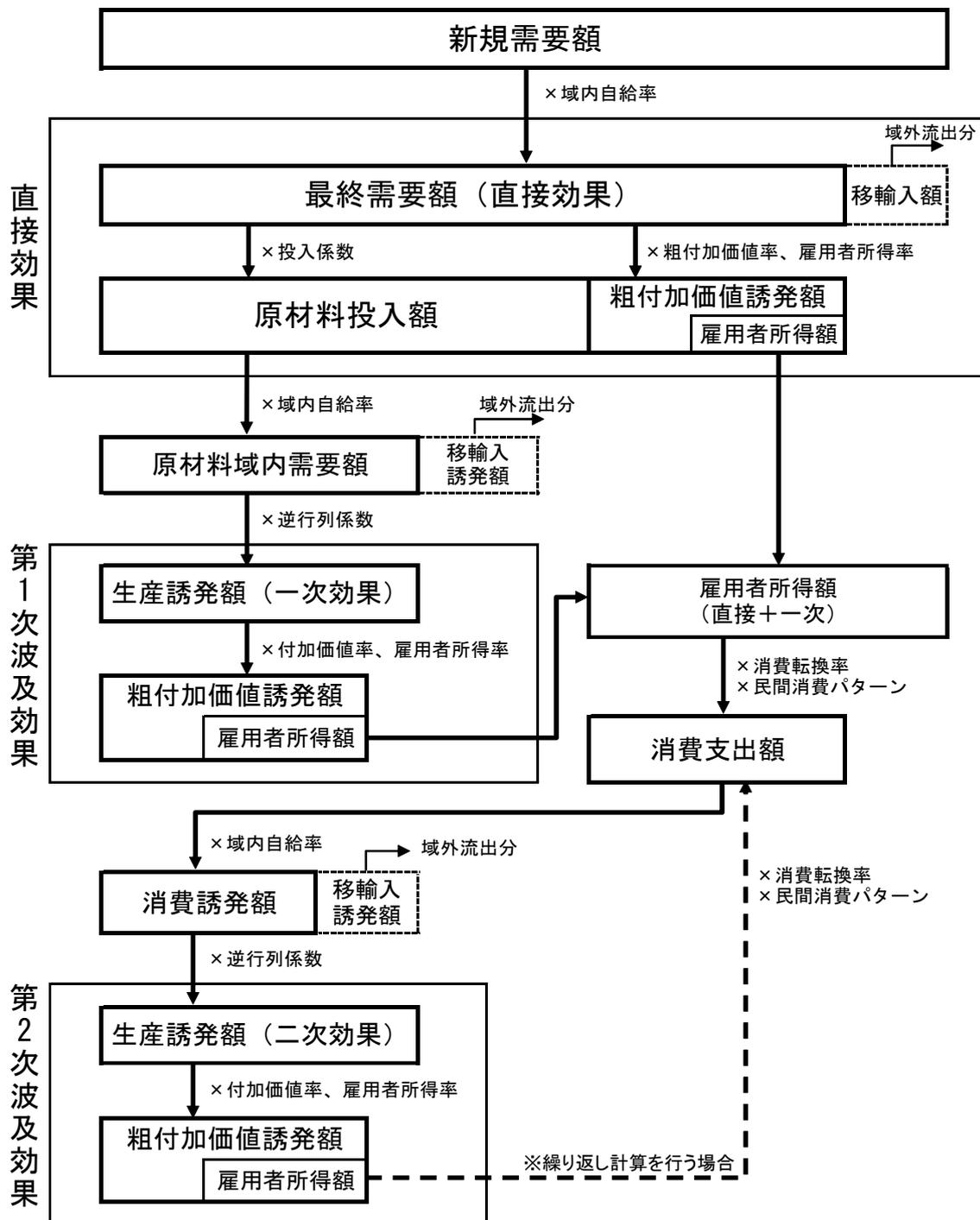
この(4)を $X$ について解くと次のようになり、これが家計消費内生モデルである。

$$X = [I - (I - \tilde{M})(A + cv)]^{-1} [(I - \tilde{M})F' + E] \dots \dots \dots (5)$$

ただし、このとき $X = X_1 + X_2 + X_3 + \dots + X_n$  である。

家計消費内生モデルとは、家計消費部門を一つの産業部門と考え、労働力という生産物で産業間取引を行うとみなすモデルである。このモデルを用いると、家計迂回効果の波及効果は生産増→所得増→消費増→生産増・・・というように逐次的に進行していき、理論上は生産誘発額がゼロになるまで続いていくことになるため、こうした各段階での生産誘発額をすべて合計したものを家計迂回効果として推計する。



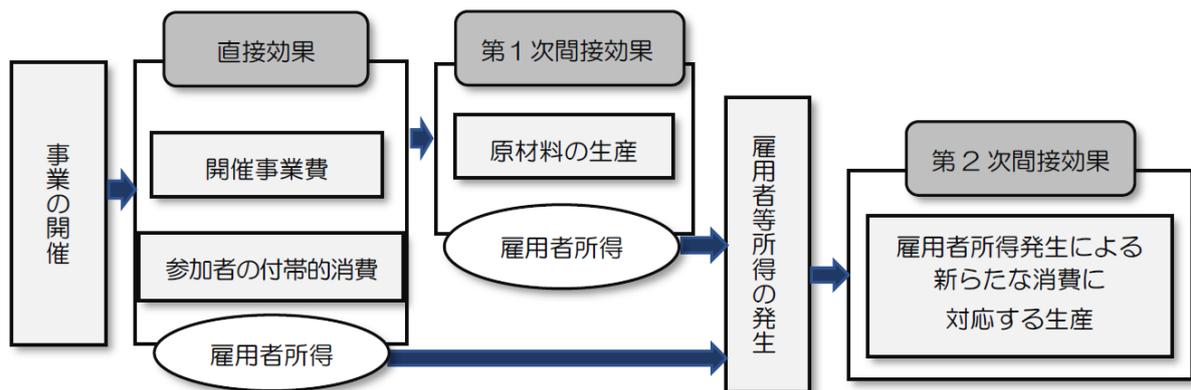


図表 3-2 生産波及効果の推計フロー

### 3-2 経済波及効果の推計範囲

経済波及効果は、消費が消費を生み、何段階も次々に波及していく。そのためどこまでの波及効果を推計するかは範囲設定が必要である。一般的な産業連関分析では「第2次間接効果」までを経済波及効果として推計するため、推計ツールにおいても同様の範囲となっている。

図表 3-3 経済波及効果の推計範囲



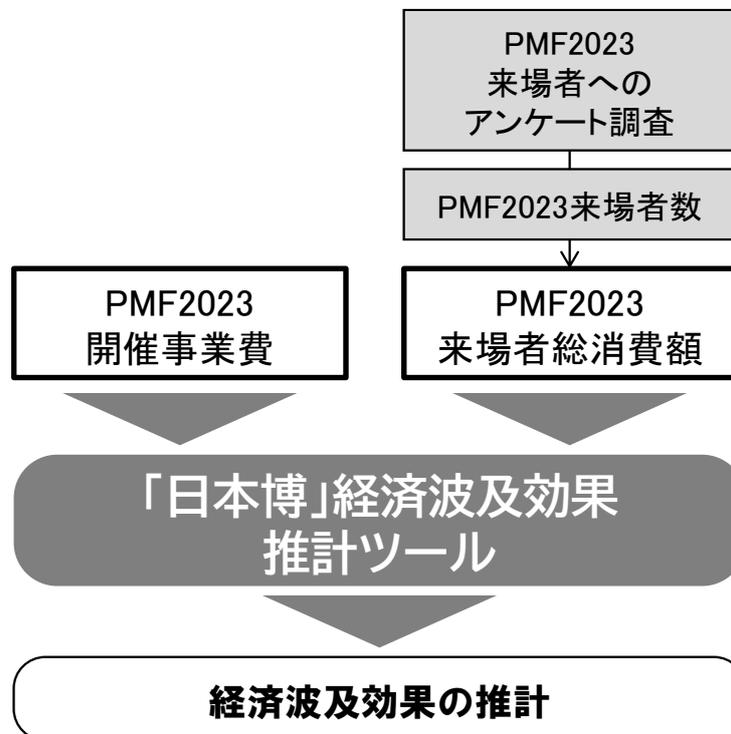
出典:「日本博」経済波及効果推計ガイドライン(令和3年3月)

### 3-3 経済波及効果の推計手順

本調査においては、PMF 組織委員会が整理した PMF2023 の開催事業費、PMF2023 の来場者数及び来場者アンケートから推計した来場者消費額のデータを所与として「「日本博」経済波及効果推計ガイドライン（令和3年3月）」に基づく推計ツールに入力し、出力された経済波及効果の結果を整理する。

なお、使用した推計ツールでは、平成27年（2015年）全国産業連関表の37産業部門による産業連関分析の計算が組み込まれている。

図表 3-4 経済波及効果の推計手順



## 3-4 開催事業費及び消費額の整理

## (1) PMF2023 の開催事業費の整理

PMF 組織委員会が整理した PMF2023 の開催事業費は下表のとおりであり、これを最終需要額として推計ツールに入力した。

図表 3-5 PMF2023 の開催事業費

区分	分類	費目	開催事業費(円)
補助対象経費	出演・音楽・文芸費	出演費	74,131,584
		音楽費	2,354,631
		文芸費	11,847,441
	舞台・会場・設営費	舞台費	28,789,346
		作品借料	0
		上映費	0
		会場費	18,100
		運搬費	77,272
	賃金・旅費・報償費	賃金・共済費	0
		旅費	67,481,567
		報償費	0
	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	26,871,430
		消耗品費	582,279
		通信費	590,375
		会議費	0
	委託費・補助金	委託費	0
		補助金	0
補助対象外経費	出演・音楽・文芸費	出演費	13,226,666
		音楽費	664,805
		文芸費	1,131,558
	舞台・会場・設営費	舞台費	6,518,520
		作品借料	0
		上映費	0
		会場費	2,238,730
		運搬費	0
	賃金・旅費・報償費	賃金・共済費	33,134,796
		旅費	36,405,108
		報償費	0
	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	13,309,804
		消耗品費	1,465,805
		通信費	2,559,782
		会議費	0
		その他	6,640,238
	委託費・補助金	委託費・補助金	0
合 計			330,039,837

## (2) PMF2023 の来場者総消費額

推計ツールにおいては、来場者数及び来場者の属性別割合、来場者属性別消費単価を入力することにより、来場者別総消費額が算出される。その結果は下表のとおりであり、これを最終需要額として以降の計算に投入した。

図表 3-6 PMF2023 の来場者総消費額

(単位：円)

日本人	県内		県外		合計
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	
団体・パックツアー料金	0	0	0	0	0
宿泊費	6,281,487	0	48,953,335	0	55,234,822
飲食費	3,322,797	20,254,169	24,615,436	1,292,199	49,484,600
交通費	3,227,315	15,344,704	16,475,982	2,143,904	37,191,905
娯楽等サービス費	903,903	521,972	3,946,618	381,931	5,754,423
買物代	5,257,913	7,265,596	11,801,660	1,094,868	25,420,036
その他	299,179	764,625	2,571,667	127,310	3,762,782
合計	19,292,594	44,151,065	108,364,697	5,040,213	176,848,568

外国人	宿泊	日帰り	合計
団体・パックツアー料金	314,242	0	314,242
宿泊費	935,960	0	935,960
飲食費	546,663	0	546,663
交通費	81,583	0	81,583
娯楽等サービス費	207,841	0	207,841
買物代	609,373	0	609,373
その他	1,276	0	1,276
合計	2,696,939	0	2,696,939

	日本人+外国人
団体・パックツアー料金	314,242
宿泊費	56,170,782
飲食費	50,031,264
交通費	37,273,488
娯楽等サービス費	5,962,264
買物代	26,029,409
その他	3,764,058
合計	179,545,507

<推計ツールによる来場者消費額の推計手順について>

- ・ 「日本博標準来場者アンケート」の結果を基に日本人来場者と外国人来場者の比率を算出。
- ・ 日本人来場者については、さらに県内・県外×宿泊・日帰りの4区分の比率と4区分の費目（「団体・パック参加費」、「宿泊費」、「飲食費」、「交通費」、「娯楽等サービス費」、「買物代」、「その他」）ごとの1人あたり消費額を算出。
- ・ 総来場者数に上記比率を乗じて、日本人の4区分の来場者数、外国人の来場者数を推計。
- ・ 日本人の4区分の来場者数と4区分の費目ごとの1人あたり消費額を乗じて、費目ごとの日本人来場者の消費額を推計。
- ・ 観光庁「共通基準による観光入込客統計」の、各都道府県別の観光目的の宿泊・日帰りの外国人の観光入込客数を基にそれぞれの比率を算出。
- ・ 観光庁「共通基準による観光入込客統計」は、原則2020年の年間値を採用（27都道府県が集計済 ※大阪府は本統計に不参加）。
- ・ 2020年値がない場合は、2019年、2018年の値を採用。それもない場合は、隣接県のうち最も人口規模の大きな都市の値を採用。
- ・ ただし、東京都の客数は令和2年東京都観光客数等実態調査を参照。
- ・ 外国人来場者数に上記比率を乗じて、宿泊・日帰りの外国人来場者数を推計。
- ・ 観光庁「旅行・観光消費動向調査」（2020年）の、各都道府県の外国人観光客の「団体・パック参加費」、「宿泊費」、「飲食費」、「交通費」、「娯楽等サービス費」、「買物代」、「その他」の平均消費額を基にそれぞれの比率を算出。
- ・ 観光庁「共通基準による観光入込客統計」の宿泊・日帰りの外国人の観光消費額単価に上記比率を乗じて、宿泊・日帰りの外国人の費目ごとの1人あたり消費額を推計。
- ・ 宿泊・日帰りの外国人来場者数と宿泊・日帰りの外国人の費目ごとの1人あたり消費額を乗じて、費目ごとの外国人来場者の消費額を推計。
- ・ 費目ごとの日本人来場者と外国人来場者の消費額を産業連関表の分類（37分類）と紐づけ。

## 3-5 経済波及効果の推計

## (1) PMF2023 の開催による経済波及効果の推計結果

PMF2023 の開催事業費について、主催者支出は 3.0 億円、直接効果は 2.8 億円と推計され、直接効果による一次波及効果は 1.8 億円と推計された。

また、PMF2023 の来場者消費については、総消費額は 1.8 億円、直接効果が 1.7 億円、直接効果による一次波及効果は 1.2 億円となった。

開催事業費と来場者消費による直接効果の合計は 4.5 億円、一次波及効果の合計は 3.0 億円となり、これに二次波及効果 1.5 億円を合わせた経済波及効果（直接効果＋一次波及効果＋二次波及効果）は、9.0 億円と推計された。

PMF2023 の主催者支出 3.0 億円に対し経済波及効果は 9.0 億円となり、乗数効果（初期投入に対する波及効果の倍数）は 3.0 倍となった。

図表 3-7 PMF2023 の開催による経済波及効果

(単位：百万円)

A	B	C	D	E	F	G	H
来場者数（人）		支出額・消費額			直接効果		
日本人	外国人	主催者支出	来場者消費	計	主催者支出	来場者消費	計
17,212	64	296.9	179.5	476.5	280.1	171.1	451.1

(単位：百万円)

I	J	K	L	M
一次波及効果			二次波及効果	波及効果合計
主催者支出	来場者消費	計		
177.1	119.9	297.0	150.6	898.7

(単位：倍)

E/C	M/C
支出額・消費額/主催者支出	波及効果合計/主催者支出
1.60	3.03

経済波及効果を産業部門別にみると、「35. 対事業所サービス」が 2.5 億円(全体の 28.0%)、「28. 運輸・郵便」が 2.0 億円(同 19.7%)、「35. 対個人サービス」が 1.3 億円(同 14.1%)と、サービス部門への経済波及が多くなっている。

図表 3-8 PMF2023 の開催による経済波及効果(産業部門別)

(単位: 百万円、%)

産業部門(37分類)	最終需要額	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	経済波及効果 (直接+一次+二次)	経済波及効果 の構成比
01 農林漁業	0	0	5	4	9	1.0
02 鉱業	0	0	1	0	1	0.1
03 飲食料品	0	0	15	11	27	3.0
04 繊維製品	0	0	1	1	1	0.2
05 パルプ・紙・木製品	0	0	6	1	7	0.8
06 化学製品	0	0	5	3	7	0.8
07 石油・石炭製品	0	0	17	3	20	2.2
08 プラスチック・ゴム製品	0	0	6	1	7	0.8
09 窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0.1
10 鉄鋼	0	0	4	1	5	0.5
11 非鉄金属	0	0	1	0	1	0.2
12 金属製品	0	0	2	1	3	0.3
13 はん用機械	0	0	2	0	2	0.2
14 生産用機械	0	0	2	0	2	0.3
15 業務用機械	0	0	1	0	1	0.1
16 電子部品	0	0	2	0	3	0.3
17 電気機械	0	0	1	1	2	0.3
18 情報通信機器	0	0	0	0	1	0.1
19 輸送機械	0	0	12	4	16	1.8
20 その他の製造工業製品	12	9	5	2	15	1.7
21 建設	0	0	2	1	3	0.3
22 電力・ガス・熱供給	0	0	12	5	17	1.9
23 水道	0	0	2	1	3	0.4
24 廃棄物処理	0	0	3	1	4	0.5
25 商業	16	16	24	21	61	6.7
26 金融・保険	0	0	10	9	19	2.1
27 不動産	0	0	10	25	34	3.8
28 運輸・郵便	142	132	35	10	177	19.7
29 情報通信	3	3	31	9	42	4.7
30 公務	0	0	3	1	4	0.4
31 教育・研究	0	0	1	3	4	0.4
32 医療・福祉	0	0	0	5	6	0.6
33 他に分類されない会員制団体	0	0	1	1	3	0.3
34 対事業所サービス	181	172	68	11	251	28.0
35 対個人サービス	112	110	3	14	127	14.1
36 事務用品	0	0	1	0	1	0.2
37 分類不明	10	10	3	1	14	1.5
合計	476	451	297	151	899	100.0

### 3-6 観光資源としての今後のPMFのあり方

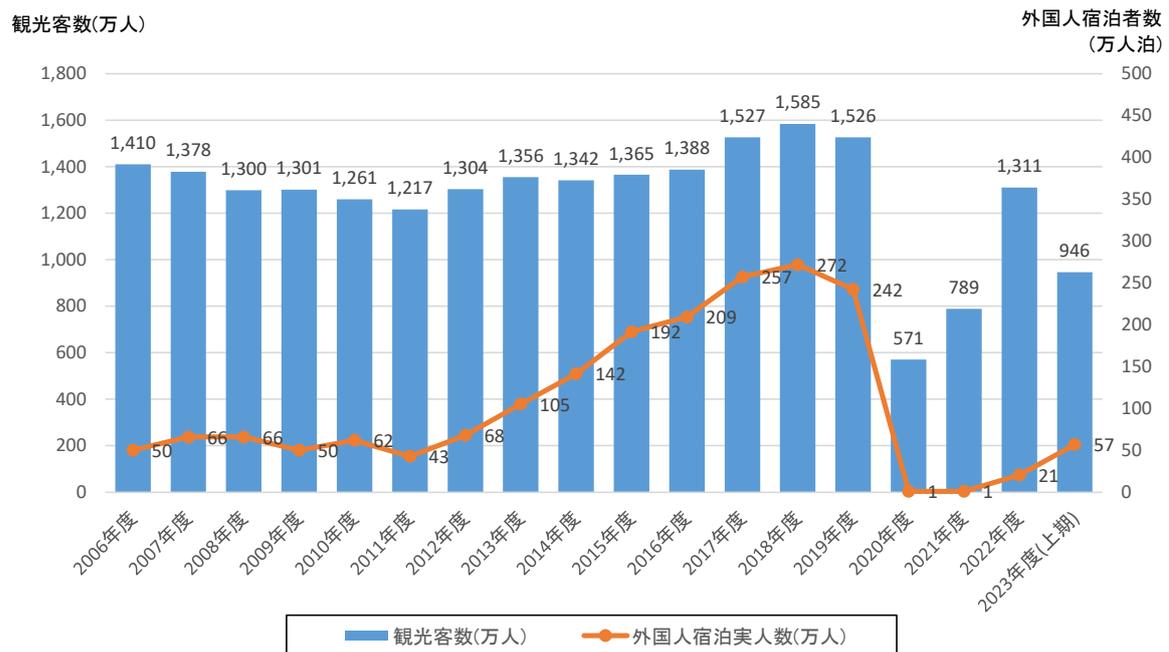
札幌市が実施する「観光客入込調査」、「宿泊施設利用状況調査」、公的機関等が実施する観光客に関する調査結果の資料等を参考としながら、国内観光振興や観光インバウンド需要回復に向けて、PMFの観光資源としての活用や観光施策との連携などについての提言も行う。

#### 3-6-1 札幌市の観光入込の状況

##### (1) 観光客数

2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症の全世界的な拡大を受けて、2020年度及び2021年度の札幌市の観光入込客数は大きく減少した。しかし、2022年度は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの外出自粛要請がなく、「サッポロ割」や「#さっぽろいきたいキャンペーン」「行かなきゃ！札幌」プロモーションなどの誘客施策を行った効果もあり、観光客数は1,311万人と、2016年度の水準にまで大きく回復した。

2023年度は4～9月の上期で946万人となり、2019年度上期の入込状況とほぼ同じとなっていることから、コロナ禍前の水準にほぼ回復していると考えられる。

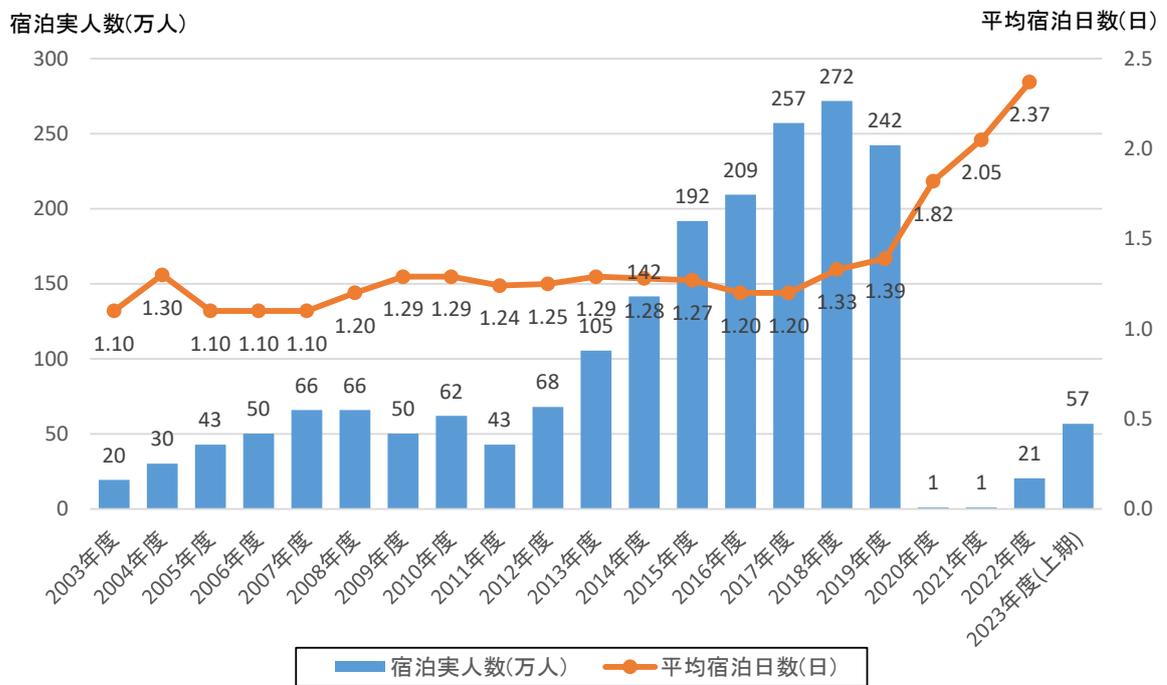


図表 3-9 札幌市の観光客数及び外国人宿泊者数の推移

## (2) 外国人宿泊者数

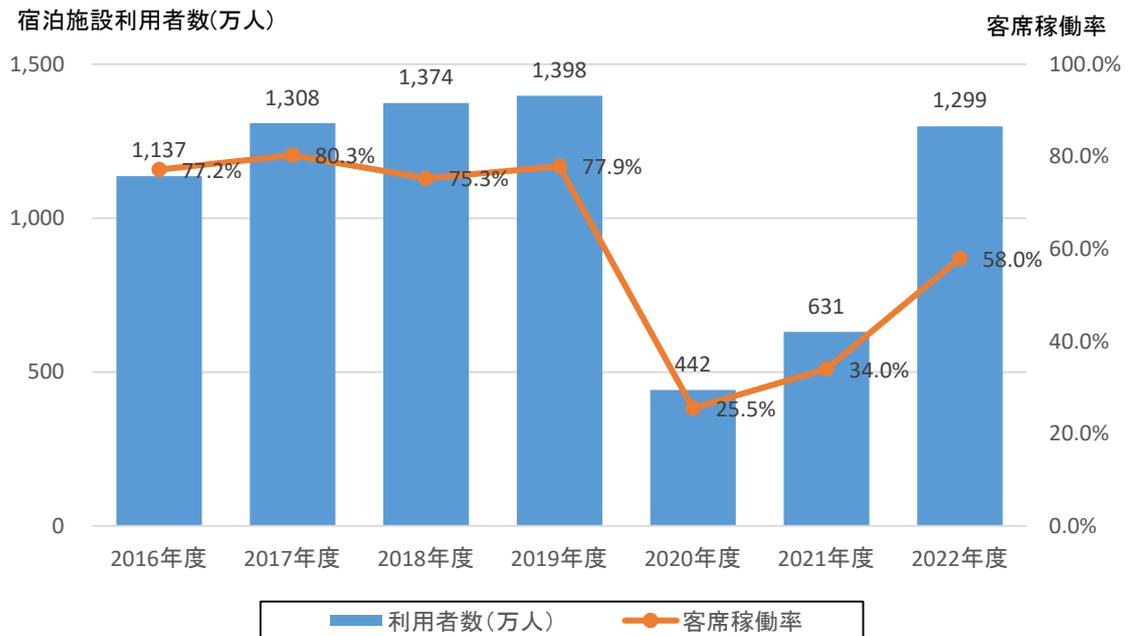
札幌市の外国人宿泊者数（実人数）は、2003年度の約20万人から、2018年度の約272万人となり、15年間で約23倍に達した。年度末に新型コロナウイルスの影響が出始めた2019年度でも外国人宿泊数は約242万人であったが、2021年度春からの入国者数の減少等により2021・2022年度と外国人宿泊数は約1万人にまで大きく減少した。

2023年度は4～9月の上期で57万人となりインバウンドの回復がみられるものの、コロナ禍前の2019年度と比較すると36.7%の減少となっている。インバウンド客の入国制限が解除され、台湾や香港、韓国からのインバウンド客は順調に戻っているものの、中国人観光客の戻りが鈍い。これは中国において日本を含む78カ国への団体旅行が禁止されていたため、2023年8月10日に日本への団体旅行が解禁されている。



図表 3-10 札幌市の外国人宿泊者数及び平均宿泊日数

札幌市内の宿泊施設の利用者数は、コロナ禍の影響による宿泊客の減少や、修学旅行の減少により、2020年度は441万9千人、2021年度は631万人と大きく減少した。2022年度は1,299万人と、2017年度と同じ水準にまで持ち直した。



図表 3-11 札幌市の宿泊施設利用者数及び客席稼働率

### 3-6-2 今後の観光資源としての活用についての展望

以上のように、札幌市の観光入込はコロナ禍前の水準に回復している。一方で、コロナ禍を契機として、従来とは異なる観光客のニーズや持続可能性への意識の高まりなどの変化が生じており、今後はこのような様々な観光客の志向への対応が求められる。

PMF など音楽を含む文化芸術活動は、地域の観光や経済において重要な役割を果たしている。文化芸術はその地域の独自性や魅力を表現するものであり、その地域を訪れる観光客に感動や体験を提供している。観光客が文化芸術活動を楽しむために来訪することで、地域の小売業や飲食店、宿泊施設などの観光関連産業が活性化し、雇用の創出や地域経済の発展に貢献する。

#### (1) SDGs の取組

世界規模で叫ばれている持続可能性（Sustainability）については、2015年9月の国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、17の目標と169のターゲットとなる「持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）」とともに、文化が持続可能な社会の実現に貢献することが明記された。札幌市においても、こうした持続可能性を重視しながら、社会のグローバル化やデジタル化、市民の文化芸術活動の成熟化、コロナ禍の影響等を踏まえ、戦略的な文化芸術施策を展開することが求められている。

音楽イベントやフェスは、一度に多くの観客が訪れることから、交通量増加によるCO2増加や、ゴミの置き去りなどの問題を抱えている。例えば、日本の野外音楽フェスの先駆的存在として知られる「FUJI ROCK FESTIVAL」は、“世界一クリーンなフェス”を目指し、エコや社会問題などに積極的に取り組む姿勢が高い評価を受けている。具体的には、会場周辺の森林環境を守るプロジェクト「フジロックの森」や、環境負荷の低い食器の導入、回収したゴミをリサイクルして再利用する資源循環の取組を行っている。また、地球温暖化防止を目的とする国際環境基金「グローバル・クール」をサポートし、イベント全体の電力をバイオディーゼルや太陽光といったクリーンエネルギーで賄う活動を行っている。

PMFにおいても、SDGsの観点から、従来のプラスチック製クリアファイルから紙製クリアファイルへの切り替えを図るなどの取組を実施しているところであるが、札幌市民や観光客に環境負荷低減の意識を持ってもらう機会としてPMFを活用するため、SDGsの啓蒙を目的としたプログラムの開催や、環境に配慮したオリジナルグッズの販売、野外コンサートにおける環境負荷低減の取組など、音楽を楽しみながら地球環境についても考えられる機会として活用していくことが重要である。

## (2) 札幌市の観光施策との連携

札幌市の観光に関する取組の方向性を示す、「第2次札幌市観光まちづくりプラン」においては、「文化芸術の魅力を活かした観光の推進」のため、「札幌芸術の森、札幌コンサートホール Kitara、モエレ沼公園、札幌市民交流プラザ、パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（PMF）、サッポロ・シティ・ジャズ、札幌国際芸術祭など、札幌の文化芸術の魅力を生かした都市観光を推進する」としている。

また、札幌市の文化芸術の基本的な計画である「第3期札幌市文化芸術基本計画」においては、「文化芸術を活かした様々な事業との連携強化」として「文化芸術が持つ創造性を点から面へと広げていくため、教育、地域社会、福祉、経済など様々な分野との連携や、最新の科学技術・情報通信技術の活用により、まちの活性化や既存の観光資源の魅力向上に向けた取組を推進する」としている。

PMFの来場者数の属性をみると、来場者の約9割が札幌市民であり、現時点ではPMFは「札幌市民の文化芸術活動」として位置づけられるだろう。PMFを札幌市外からの観光客を呼び寄せるコンテンツとして成長させるためには、リピーターとなる来訪者と地域との繋がりをどのように作っていくかが重要である。

点在する文化芸術拠点を繋ぎ、同時に観光客に対しても強い誘客効果を与えるものとして、一定期間内に様々なイベントが同時多発的に開催される「ミートアップイベント」の開催が考えられる。旭川市では毎年6月に「旭川ミュージックウィーク」を開催し、期間内は旭川市内の様々な場所で、吹奏楽・クラシック・ジャズ・ロックなど多彩なジャンルの音楽を聴く機会が提供される。このようなミートアップイベントは、参加のハードルが低く、観光コンテンツとしてもPRしやすくなるメリットがある。

PMFはオーケストラという性質上、Kitaraなどの音楽ホール中心での開催となるが、札幌市民や観光客の往来が多い都心部での開催や、同時期に市内で開催されるイベントとのコラボレーションを検討していくことが重要である。